

05

もしかするのしろ ～自然 × 科学 × まちづくり～



最先端の科学や技術を味方につけたら
のしろはどう変わる?

地元をよく知る参加者と、東京大学 生産技術研究所で活躍する研究者が、一緒にまちの未来を考えるワークショップです。

日時：2020年9月21日（月） 13:00～16:00

場所：オンライン開催（秋田県立能代松陽高等学校）

講師：東京大学 生産技術研究所 加藤 孝明 教授

ワークショップ進行：松山 桃世 准教授、中井 紗織 学術支援専門職員

主催：東京大学 生産技術研究所（HP：<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/>）

参加費：無料

申込：以下の宛先に所属（学生の場合には学校・学年）・氏名をメール送付

科学自然都市協創連合 事務局 nikou@iis.u-tokyo.ac.jp

（HP：https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/inter-regional_network/）



21世紀の科学は、各地の暮らしを支え、豊かな暮らしを実現すると私たちは考えます。地域の特徴と科学技術の可能性の理解を通して、科学は人を幸せにすることができるのか、一緒に考えたいと思います。



講師プロフィール

Step1：「SDGs めがね」でまちを眺める

「SDGs (Sustainable Development Goals)」という世界の目標を切り口に普段の生活を眺め、新たなまちの魅力や課題を探しましょう。

Step2：最新の研究紹介

生産技術研究所が取り組む最新の研究を紹介します。

講演題目：防災“も”まちづくりのすすめ

Step3：もしかするのしろ

～ 科学や技術で、まちは変わる？～

生産技術研究所の知恵を詰め込んだ「道具箱」を使い、ゲームを楽しみながら、未来のまちの姿を考えましょう。

東京大学 生産技術研究所 教授 東京大学 社会科学研究所 特任教授 博士(工学)

1967年愛知県生まれ。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了後、東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻助教、生産技術研究所 准教授等を経て2019年4月より現職。専門分野は、都市計画、まちづくり、地域安全システム学。災害シミュレーション技術、それを社会に結びつける「まちづくり支援技術」の開発の他、自治体や地域社会と連携してまちづくりを実践し、時代をふまえた地域づくりの新しいモデルの構築を進める。地震防災、気候変動に対応した街づくり、復興準備等を研究テーマとする。社会資本整備審議会小委員会、内閣府等の有識者会議、国、自治体の防災・まちづくり関連の数多くの委員会で議論をリードする。